

地域と医療をつなぐコミュニケーションマガジン

# かがやき

K A G A Y A K I



医療法人 漢榮会  
福岡輝栄会病院 広報誌

〒813-0044 福岡市東区千早5-11-5

TEL: 092-681-3115

□ <http://www.kieikai.ne.jp/>

TAKE FREE

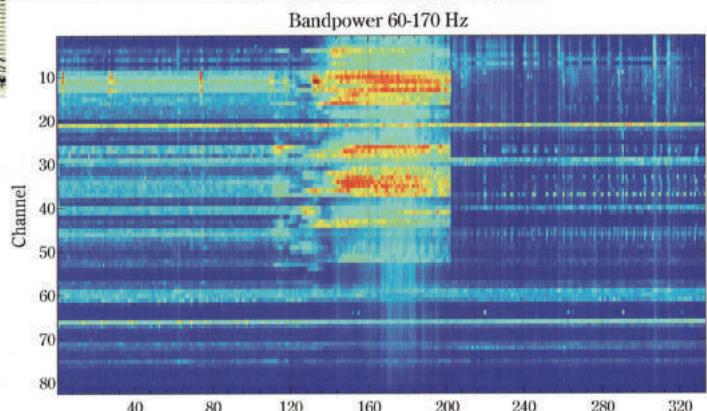
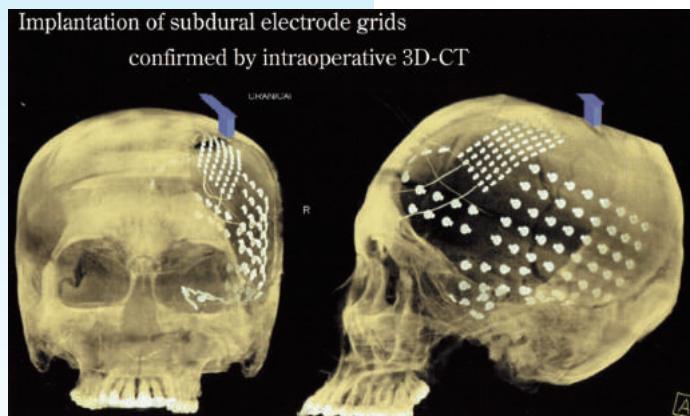
2016年 特集号

特集

## てんかん・パーキンソン病・ 難治性疼痛に対する 包括的治療の実践

福岡輝栄会病院 機能神経外科部長 石橋 秀昭 医師

# てんかん・パーキンソン病・難治性疼痛に対する包括的治療の実践



福岡輝栄会病院では、これまで地域の脳卒中センターとしての機能と役割を推進してまいりました。この度、機能強化に向けた取り組みとして、脳神経外科の一分野である機能神経外科の部長として石橋医師が就任いたしました。本誌では石橋医師のてんかんやパーキンソン病への専門的かつ質の高い治療への取り組みを特集いたします。

— 石橋先生、お忙しいところ、ありがとうございます。本日は石橋先生にご着任いただきました機能神経外科についてお話しいただきたいと思います。その前に、あらためて石橋先生のプロフィールをご紹介ください。 —

**石橋医師** 私は高知大学を卒業し、出身地である福岡でキャリアを積むため九州大学の脳神経外科に入局いたしました。この医局では3-4年の研修後、博士号を取るべく一定期間の研究が義務付けられていきました。当時（現在もでしょうが）脳神経外科分野での花形研究は脳腫瘍と脳血管障害でしたが、新たに臨床神経生理班が立ち上げられ、そこで研究を開始したの

が研究キャリアの始まりでした。

臨床神経生理、すなわち脳波を軸とした、てんかんや脳腫瘍、脳血管障害に対するアプローチがテーマとなりましたが、当時この分野は現在ほどメジャーではありませんでした。。。よって当初はあまり乗り気ではありませんでした。

主にてんかん患者の手術を通して、発作発症様式や責任病巣の探索を脳波や様々な神経画像検査を融合して考察し、手術成績の向上に寄与する方法を研究しましたが、てんかんの手術を専門とする施設は全国的に非常に少なかったので、暗中模索・試行錯誤の連続でした。四苦八苦の末、何とか形にすることができる次の留学に繋がりました。

— 最近ではメディア等で「てんかん」の話題を耳にする機会が増えたと感じますが、当時は大変なご苦労があったのですね・・・—

**石橋医師** 2000 年からアメリカ合衆国のテキサス大学ヒューストン医学校脳神経外科に留学しました。テーマは脳磁図という当時最先端の脳波計を用いたてんかんの研究でした。

英会話を実用的に使う教育を受けていない日本人にとっては誰でもそうでしょうが、着任後の 3 ヶ月ほどは日常会話に全くついていけず鬱々とした日々を過ごしましたが、半年もたつとようやく耳も慣れ、落ち着いて仕事や日常生活も送れるようになりましたが。この 2 年間、仕事のみで観光地など行くこともなく終わり少々後悔しています。

一旦の帰国を挟んで 2004 年から 2007 年までアメリカ合衆国ニューメキシコ大学神経内科に再度留学しました。当地での仕事はてんかんから離れ、動物の脳を用いた基礎的な脳波研究でした。豚に麻酔をかけ、脳を露出して一昼夜脳波を記録するタフな仕事でした。この大学はアルバカーキという町にあり州都は例のサンタフェにあります。アメリカ南部のこの州はグランドサークル、もしくはフォーコーナーズ (four corners) と言われる田舎で、帰国後アメリカ人からも“そんな田舎に住んでいたのか”と笑われること多々ありましたが、その周辺にはグランドキャニオンをはじめとするたくさんの世界遺産や国定公園があり、ヒューストン時代の反省から連休があると家族の方々に出かけました。給料が少なく貧乏ではありましたが、一番生活が充実していたのがこの時期だと思っています。

— ヒューストン時代とは違う研究をされていたんですね。帰国されてからは、病院勤務や北海道の旭川大学脳神経外科学講座で講師として勤務され、今年 1 月に当院にお越しいただきましたが、当院周辺、また福岡においても、てんかん専門医は少ないと聞いております。—

**石橋医師** 私は臨床てんかん発展初期に学会に属したので、当時は比較的簡単に専門医を取得できました。

#### 留学で訪れた魅力的な観光スポット



てんかんは脳神経外科、神経内科、小児科、精神科と多岐にわたる専門性が必要とされる学問で、近年の自動車事故などで注目を浴びたこと也有り、更なる専門医の養成が必要とされていますが、専門医取得も年々ハードルが高くなっています。実際、今でも福岡市内で専門医を有する医師は少ないので、少しでもてんかん診療や教育に寄与できればと思っています。てんかん学会認定医・指導医である私は以前、旭川医科大学脳神経外科学教室をてんかん学会研修認定施設にしましたが、当院でもてんかん学会研修施設認定のための活動を行っていきます。

— 直接命に関わることが少ないとされているてんかんやパーキンソンの治療は、内服治療の印象強いのですが、今後当院において外科的アプローチが展開されるということでしょうか。 —

**石橋医師** てんかんやパーキンソン病は今や手術療法の対象疾患として広く認知されるようになりました。特に福岡市は全国でも実施施設数が日本でも指折りの環境です。すなわち、これらの疾患に悩まされている

患者の皆さんには近隣かつ専門的な治療を受ける機会に恵まれていることを意味します。

てんかんは原因となる脳の部位を検索し、切除術にて改善することが期待できますし、パーキンソン病は脳の深部に電極を埋め込み、常時電気刺激を行うことで劇的な改善を見ることもあります。。。。

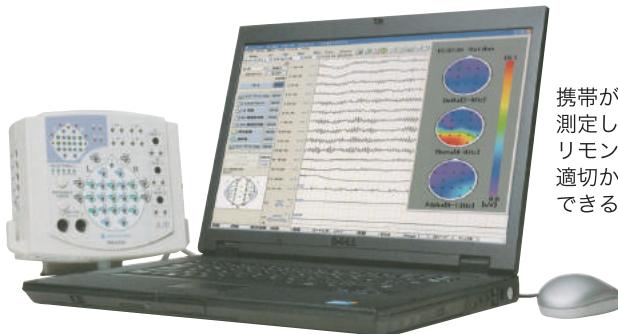
むしろパーキンソン病では早期にこの手術をすることで長期的な経過が服薬のみより良好であることが広く知られるようになり、早期からの手術介入が推奨さ

## ～手術を低侵襲、かつ安全に施行するための必須器材のご紹介～

### 日本光電 脳波計 EEG-9100 ニューロファックスμ

#### 電極接続箱

測定データがデジタル変換後に本体へ伝送されるのでアナログ伝送のように外部ノイズの影響を受けず、スムーズな脳波測定が可能



携帯が可能なペーパレスデジタル脳波計  
測定した脳波データは電極単位で保存でき、  
リモンタージュ、リフィルタリングが可能  
適切かつ効率的に脳波判読を行うことが  
できる

#### レクセル ステレオタクティック システム



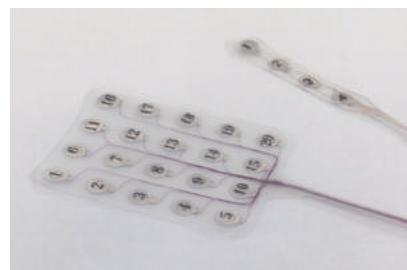
MR I、C T、X線等の画像診断装置を使用して、腫瘍や機能的疾患等の病変部位置を計測し、病変部の血腫吸引や定位脳手術の補助具として使用。アームの中心にターゲットを置くという原理により、頭蓋内のほとんどの部位の治療が可能。深部の扱いにくい場所にある腫瘍においても、低侵襲性で汎用性が高い

#### コイル電極



しっかりと頭皮に固定でき、装着がスムーズに行えるコードクリュー状のコイル

#### 頭蓋内電極



極数、極間、配列、外寸法等を自由に設定できる

れています。当院では複雑なてんかんの症例は他施設と連携で対処し、重症難治性症例には迷走神経刺激装置の埋め込みで対処したいと考えています。またパーキンソン病は適応があれば脳深部刺激装置の埋め込みを考慮します。その他、難治性の痛みに対する手術や脳卒中後の四肢の硬直に対する外科治療も導入する予定です。

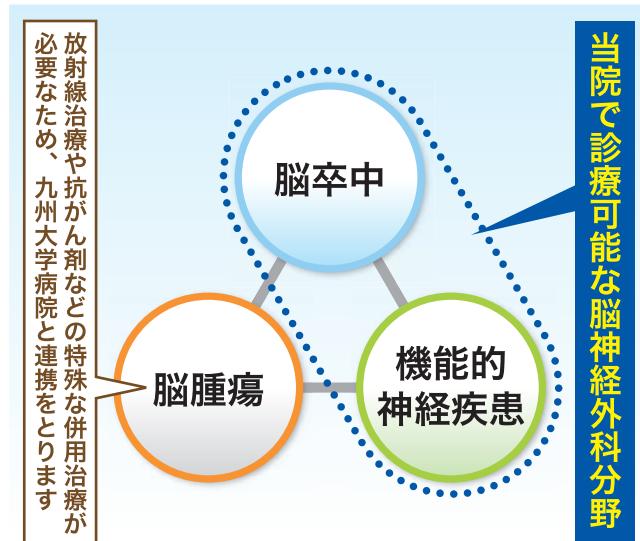
一 救急病院である当院では、てんかん発作で救急搬入される患者さんや、意識消失やけいれんが少なくありません。てんかんの救急患者さんに対して、当院の担う役割が大きくなるかと思いますが。――

**石橋医師** そうですね。当院周辺で、突然のてんかん発作に直面し、動搖されるご家族、そしてどう対処すればよいか迷われる医師の皆様も多いかと思います。てんかん診療施設は現在福岡西方にあり、東区で専門医がいる病院は九州大学病院と当院しかありません。発作自体は1~2分で落ち着くことが多いのですが、中には重積状態となる場合もあり、病院搬送が必要な時もあります。当院はそのような患者を受け入れ、投薬の調整を行うことが可能です。てんかん救急の第一次、第二次病院として機能したいと考えていますので、そのような患者様がいましたらご用命ください。

一 当院では、機能神経外科部長として着任いただきますが、「機能神経外科」というのは、あまり聞きなれない方も多いのではないでしょうか。――

**石橋医師** 機能的脳神経外科は、日本で最近注目を集める分野となりつつありますが、欧米では脳腫瘍の外科、脳血管障害の外科と並んで三本柱の一つとして確立しています。機能神経外科が扱う疾患群は、てんかんやパーキンソン病、ジストニア、難治性疼痛など多岐にわたります。それ自体で致命的になるわけではありませんが、長期にわたって疾病に苦しむこととなり、生活の充実度を著しく低下させることとなります。

福岡市内は幸い、機能的脳神経外科疾患を診療する施設がいくつかありますが、当院は九州大学脳神経外科の関連病院として、それら施設と連携をとりあいながら診療にあたっていきたいと考えています。



一 最後に、福岡輝栄会病院脳神経外科について、また今後の取り組みについてお考えをお聞かせください。――

**石橋医師** 当院脳神経外科は、脳卒中センターを設置し脳卒中診療に力を入れています。先ほど述べましたように脳神経外科は、「脳卒中」「脳腫瘍」「機能的神経疾患」の3つの柱で構成されています。脳腫瘍は、放射線治療や抗がん剤などの特殊な併用治療が必要となりますので大学病院などでの診療となります。一般的の診療には、機能的神経疾患も多く含まれており、その多くが専門外ということで放置されている場合が多いと思います。

今回当院ではその隙間を埋めるべく、より包括的な脳神経診療体制をとるため機能神経外科を開設しました。脳卒中センター長で副院長の鈴木医師とは、医局入局時より先輩後輩として働いた経緯があり、また若手医師の方々（脳神経外科、神経内科）も腰軽くよくサポートをしてくれるので、新しい仕事を始めるのに心配はないと思っています。

当院のような中規模病院は核となる基幹病院の下、その機能がよく発揮されると考えています。現在九州大学脳神経外科の関連である当科はその中核を担うべく、九州大学やその関連病院と連携を強め、地域医療に取り組みたいと考えています。また地域のクリニックの皆様には、必要な時にお抱えの患者をいったん当院でお預かりし、軽快改善すればお返しして良好な地域の医療循環を保つよう努力したいと思っています。

てんかんやパーキンソン病、難治性疼痛などでお困りの患者様がいましたら、どうぞご紹介ください。

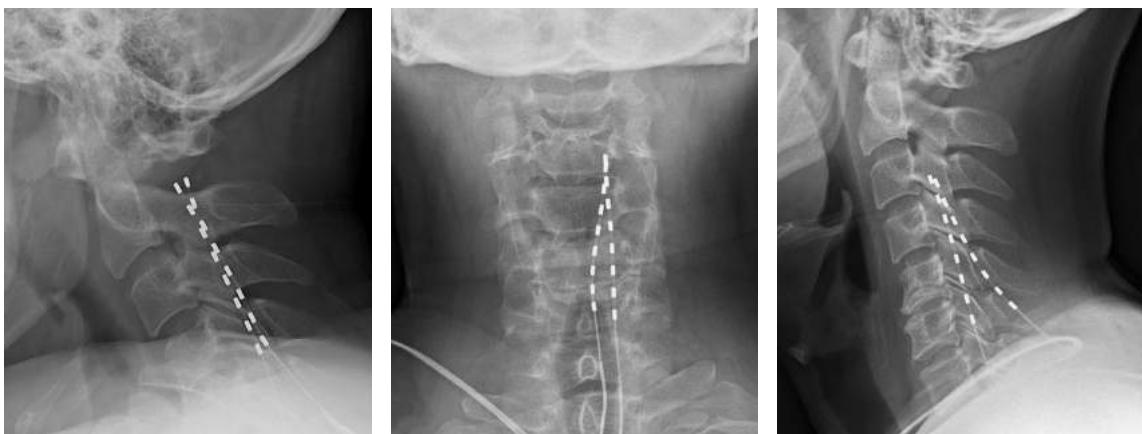
# 難治性疼痛について

脊髓刺激療法は比較的新しい治療法で、脊髓を刺激する電極を埋め込むことで痛みを緩和する方法です。まず簡単な手術を行い、数日間試験的に刺激を与えて効果を判定し、効果があれば刺激装置の埋め込みを行います。

脊椎の手術後や脊髓損傷などで手足に耐えがたい痛みを来す場合がありますが、このような痛みは薬でなかなかコントロールがつきません。痛みでお困りの方は治療実績のある当院外来にご相談ください。

## 脊椎刺激療法

刺激電極を脊椎の中に挿入し、脊髓を電気刺激することによって痛みを和らげる治療法



## 地域医療連携室ご案内

地域に密着し、皆様に満足していただける医療を支援します。



地域医療連携室では以下の業務を行っています。

他の医療機関からの紹介患者様の受け入れ

当院の患者様を他の医療機関へ紹介する窓口

医療ソーシャルワーカーによる医療相談（退院、転院、医療費など）

在宅医療に関する相談

その他お問い合わせ、見学のご案内等

## 入院・外来受診相談直通窓口

福岡輝栄会病院 代表電話

092-681-3115 又は

地域医療連携室直通電話（FAX 共）

092-672-9182

[受付時間] 月曜日～土曜日 9:00～18:00



## 石橋 秀昭 医師 (いしばしひであき)

福岡県出身

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 平成 3 (1991)年3月 | 高知医科大学医学部医学科 卒業         |
| 平成 3 (1991)年5月 | 九州大学脳神経外科 入局            |
| 平成12(2000)年4月  | 新古賀病院 脳神経外科医長           |
| 平成12(2000)年8月  | 米国テキサス大学ヒューストン医科大学脳神経外科 |
| 平成14(2002)年9月  | 九州中央病院 脳神経外科医長          |
| 平成16(2004)年4月  | 米国ニューメキシコ大学神経内科         |
| 平成20(2008)年4月  | 嬉野医療センター 脳神経外科医長        |
| 平成24(2012)年4月  | 下関市立市民病院 脳神経外科部長        |
| 平成25(2013)年4月  | 旭川医科大学 脳神経外科講師          |
| 平成28(2016)年1月  | 現職 現在に至る                |

### 所属学会等

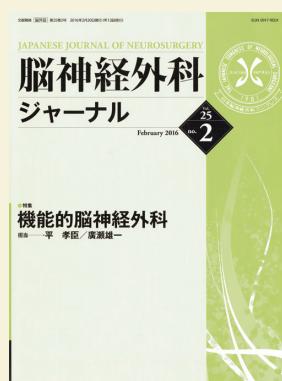
- 医学博士（九州大学）  
 九州大学 精神神経科 共同研究員  
 日本脳神経外科学会 認定医（専門医）  
 日本てんかん学会 認定医（臨床専門医）指導医  
 日本臨床神経生理学会 脳波分野 認定医  
 日本臨床神経生理学会 筋電図・神経伝導分野 認定医  
 日本定位・機能神経外科学会 機能的定位脳手術技術認定医  
 迷走神経刺激療法 資格認定医  
 髓腔内バクロフェン投与 (ITB) 療法 施行資格認定医  
 がん治療認定医機構 がん治療認定医  
 日本脳神経外科コングレス  
 日本てんかん外科学会  
 日本脳卒中の外科学会  
 脳神経外科手術と機器学会 (CNTT)

脳神経外科ジャーナル2016年2月号  
 機能的脳神経外科特集で総説が掲載されました。

### 「医用技術の進歩に伴う近年のてんかん外科治療」

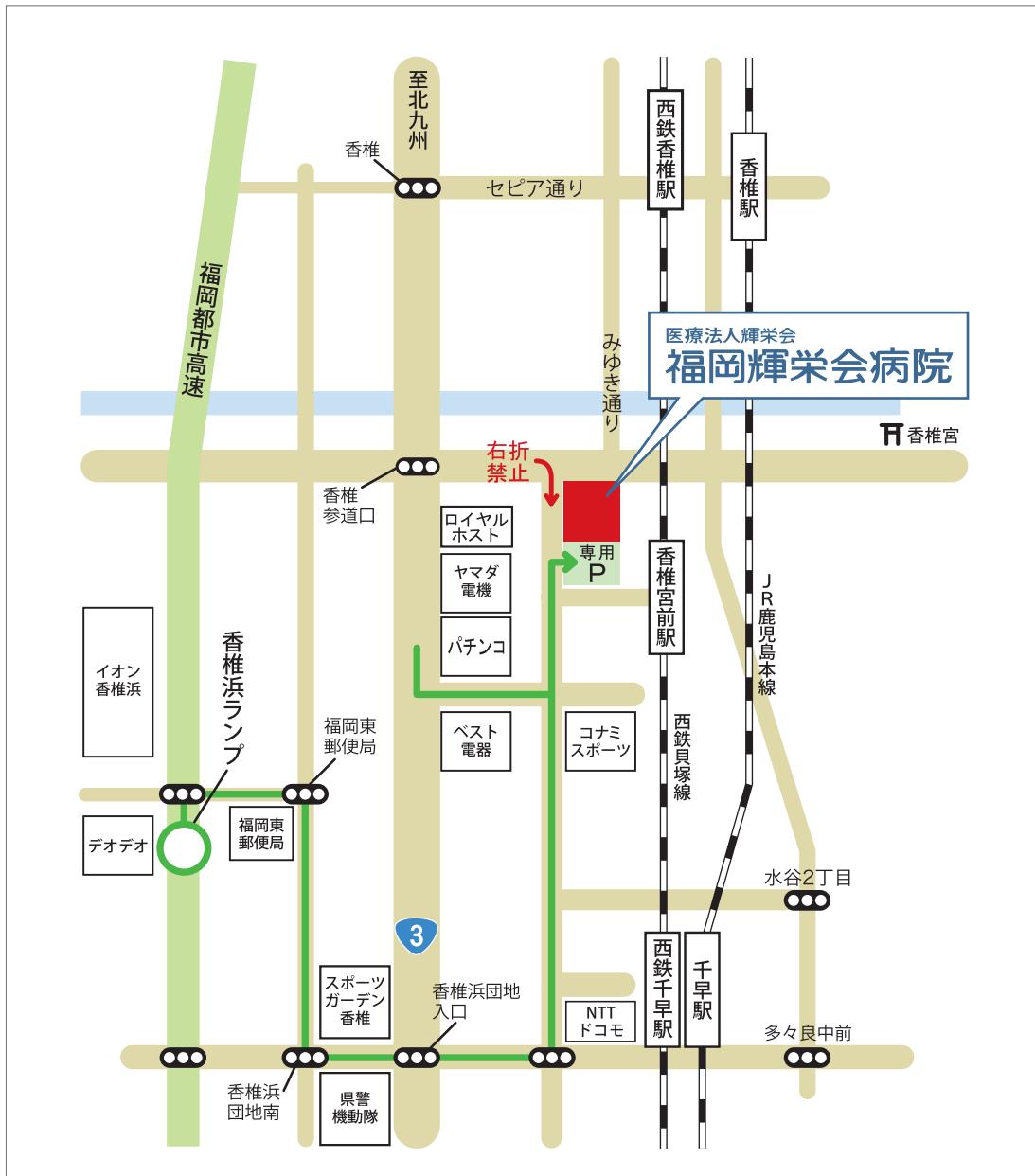
石橋 秀昭、小川 博司、田村 有希恵、広島 覚、鎌田 恭輔

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcns/25/2/25\\_112/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcns/25/2/25_112/_pdf)



### 石橋医師の外来診療日程

- 火曜日／14:00～17:30
- 金曜日／9:00～12:30
- 土曜日／隔週でてんかん外来を行なっておりますので、あらかじめお電話でのご確認をお勧めいたします。



- 西鉄バス 香椎参道バス停下車 ..... 徒歩0分  
御幸町バス停下車 ..... 徒歩約2分
- 西鉄電車 西鉄貝塚線 香椎宮前駅下車 ..... 徒歩約1分
- 地下鉄 地下鉄貝塚駅(箱崎線) 西鉄貝塚線乗り換え  
香椎宮前駅下車 ..... 徒歩約1分
- JR 鹿児島本線 香椎駅下車 ..... 徒歩約7分  
鹿児島本線 千早駅下車 ..... 徒歩約8分

お問い合わせ先



医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院

〒 813-0044 福岡市東区千早5丁目11番5号

TEL 092-681-3115(代表) FAX 092-681-3972

地域医療連携室直通電話 (FAX共) 092-672-9182